

企画名	シリーズ「精神科看護事例検討会」
実施日	第1回 6月28日
企画実施組織	鈴木啓子・伊礼優・平上久美子・鬼頭和子
企画の目的・概要	<p>（企画の目的と概要を正確かつ簡潔に説明して下さい。）</p> <p>毎日の取り組みや工夫、行なってみたいことや夢、新しい情報や知見などについて、日ごろ看護を実践されている皆さんと教育研究に携わっている皆さんと共有できる交流の場として、沖縄県精神看護研究会を定期的開催している。臨床のことから教育のこと、組織やシステムの事などさまざまなことについて、気軽に参加していただき、実践の場に活用できる検討ができることを期待している。</p> <p>今回は、精神看護事例検討会として5回シリーズで、臨床における様々な困難な事例やスタッフのメンタルヘルスの問題など様々な事例についての事例検討会をもつことを予定している。県内各精神科病院の臨床看護職から毎回1事例についてプレゼンテーションしてもらい、参加者とともにディスカッションを行う予定である。講師には平安病院・精神専門看護師の山崎千鶴子先生をお招きして、専門看護師の立場から、助言をいただく予定である。施設を超えたディスカッションを通して、さらに看護についての理解を深めていく予定である。</p>
企画実施報告	<p>参加人数は名であった。参加者の内訳は、臨床の方が4名、大学院生1名、教員5名であった。</p> <p>もとぶ記念病院の看護師さんから事例報告をしていただき、その後、ディスカッションを行い、精神専門看護師のスーパーバイズを受けた。</p>
企画の実施評価	<p>もとぶ記念病院副師長、遠藤洋子さんから、臨床での困難事例を報告していただき、臨床実践者、大学院生、学部生とディスカッションを行った。また、講師には平安病院・精神専門看護師の山崎千鶴子先生からも、専門看護師の立場から、助言をいただいた。</p> <p>普段は看護業務が多忙で、客観的に事例を検討することが困難であるが、どのように患者にアプローチしたら良いのか、職員の関わり方など適切にアドバイスを頂き、とても有意義な研究会となった。研究会終了後のアンケートでは、今回の内容は、参考になったという意見が多く、満足度についても高い評価であった。</p>
今後の取組み	<p>本年度は年間計画があるので、それに沿って広く広報して多くの方に参加していただけるようにしたい。</p> <p>また次年度に向けて、どのようなテーマで開催するのがいいか、参加者の方のニーズや地域に必要なことは何かを参加者の方のアンケートなどを参考に検討しながら進めていきたい。</p>

企画名：シリーズ「精神科看護事例検討会」
実施日： 第2回 9月2日
企画実施組織：鈴木啓子・伊礼優・平上久美子・鬼頭和子
<p>企画の目的・概要（企画の目的と概要を正確かつ簡潔に説明して下さい。）</p> <p>毎日の取り組みや工夫、行なってみたいことや夢、新しい情報や知見などについて、日ごろ看護を実践されている皆さんと教育研究に携わっている皆さんと共有できる交流の場として、沖縄県精神看護研究会を定期的で開催している。臨床のことから教育のこと、組織やシステムの事などさまざまなことについて、気軽に参加していただき、実践の場に活用できる検討ができることを期待している。</p> <p>今回は、精神看護事例検討会として5回シリーズで、臨床における様々な困難な事例やスタッフのメンタルヘルスの問題など様々な事例についての事例検討会をもつことを予定している。県内各精神科病院の臨床看護職から毎回1事例についてプレゼンテーションしてもらい、参加者とともにディスカッションを行う予定である。講師には平安病院・精神専門看護師の山崎千鶴子先生をお招きして、専門看護師の立場から、助言をいただく予定である。施設を超えたディスカッションを通して、さらに看護についての理解を深めていく予定である。</p>
企画実施報告(参加人数等を明記)
<p>参加人数は16名であった。参加者の内訳は、臨床の方が5名、大学院生1名、学部生3名、教員7名であった。</p>
企画の実施評価(ケアの質の向上、または大学および地域の貢献)
<p>もとぶ記念病院デイナイトケア比嘉看護師さんから、地域で生活する1名の対象者の困難事例を報告していただき、臨床実践者、大学院生、学部生とディスカッションを行った。また、講師には平安病院・精神専門看護師の山崎千鶴子先生からも、専門看護師の立場から、助言をいただいた。</p> <p>普段は看護業務が多忙で、客観的に事例を検討することが困難であるが、どのように患者にアプローチしたら良いのか、職員の関わり方など適切にアドバイスを頂き、とても有意義な研究会となった。</p> <p>自由意見として、地域や病院にいと大学や教育機関に出向くことが少なくなるため、この研究会を今後も継続してほしいと意見があった。研究会終了後のアンケートでは、今回の内容は、参考になったという意見が多く、満足度についても高い評価であった。</p>
今後の取組み(本企画について、今後どのように発展するかを具体的に記入してください。)
<p>本年度は年間計画があるので、それに沿って広く広報して多くの方に参加していただけるようにしたい。</p> <p>また次年度に向けて、どのようなテーマで開催するのがいいか、参加者の方のニーズや地域に必要なことは何かを参加者の方のアンケートなどを参考に検討しながら進めていきたい。</p>

企画名：シリーズ「精神科看護事例検討会」
実施日：第3回 10月18日
企画実施組織：鈴木啓子・伊礼優・平上久美子・鬼頭和子
<p>企画の目的・概要</p> <p>毎日の取り組みや工夫、行なってみたいことや夢、新しい情報や知見などについて、日ごろ看護を実践されている皆さんと教育研究に携わっている皆さんと共有できる交流の場として、沖縄県精神看護研究会を定期的に開催している。臨床のことから教育のこと、組織やシステムの事などさまざまなことについて、気軽に参加していただき、実践の場に活用できる検討ができることを期待している。</p> <p>今回は、精神看護事例検討会として5回シリーズで、臨床における様々な困難な事例やスタッフのメンタルヘルスの問題など様々な事例についての事例検討会をもつことを予定している。県内各精神科病院の臨床看護職から毎回1事例についてプレゼンテーションしてもらい、参加者とともにディスカッションを行う予定である。講師には平安病院・精神専門看護師の山崎千鶴子先生をお招きして、専門看護師の立場から、助言をいただく予定である。施設を超えたディスカッションを通して、さらに看護についての理解を深めていく予定である。</p>
<p>企画実施報告</p> <p>参加人数は19名であった。参加者の内訳は、臨床の方が8名、大学院生1名、学部生2名、教員6名、一般2名であった。</p>
<p>企画の実施評価</p> <p>琉球病院の吉岡看護師長さんから事例報告をしていただき、その後、参加者でディスカッションを行い精神専門看護師のスーパーバイズを受けた。</p> <p>琉球病院に入院する慢性期統合失調症患者で陰性症状の顕著な対象者の困難事例を報告していただき、臨床実践者、大学院生、学部生とディスカッションを行った。また、講師には平安病院・精神専門看護師の山崎千鶴子先生からも、専門看護師の立場から、助言をいただいた。</p> <p>普段は看護業務が多忙で、客観的に事例を検討することが困難であるが、どのように患者にアプローチしたら良いのか、職員の関わり方など適切にアドバイスを頂き、とても有意義な研究会となった。</p> <p>自由意見として、事例検討の良い機会となり、内容を生かしていきたいという意見があった。研究会終了後のアンケートでは、今回の内容は、参考になったという意見が多く、満足度についても高い評価であった。1名の方が時間が長いという意見があり、今後は予定時間内で終了したい。</p>
<p>今後の取組み</p> <p>本年度は年間計画があるので、それに沿って広く広報して多くの方に参加していただけるようにしたい。</p> <p>また次年度に向けて、どのようなテーマで開催するのがいいか、参加者の方のニーズや地域に必要なことは何かを参加者の方のアンケートなどを参考に検討しながら進めていきたい。</p>

企画名：シリーズ「精神科看護事例検討会」
実施日： 第4回 平成27年1月24日
企画実施組織：鈴木啓子・平上久美子・鬼頭和子
<p>企画の目的・概要（企画の目的と概要を正確かつ簡潔に説明して下さい。）</p> <p>毎日の取り組みや工夫、行なってみたいことや夢、新しい情報や知見などについて、日ごろ看護を実践されている皆さんと教育研究に携わっている皆さんと共有できる交流の場として、沖縄県精神看護研究会を定期的に開催している。臨床のことから教育のこと、組織やシステムの事などさまざまなことについて、気軽に参加していただき、実践の場に活用できる検討ができることを期待している。</p> <p>今回は、精神看護事例検討会として5回シリーズで、臨床における様々な困難な事例やスタッフのメンタルヘルスの問題など様々な事例についての事例検討会をもつことを予定している。県内各精神科病院の臨床看護職から毎回1事例についてプレゼンテーションしてもらい、参加者とともにディスカッションを行う予定である。講師には平安病院・精神専門看護師の山崎千鶴子先生をお招きして、専門看護師の立場から、助言をいただく予定である。施設を超えたディスカッションを通して、さらに看護についての理解を深めていく。</p>
企画実施報告
<p>参加人数は15名であった。参加者の内訳は、臨床看護師が7名、学部生5名、教員3名であった。</p> <p>北部地区医師会病院の柴山看護部長さんから事例報告をしていただき、その後、参加者でディスカッション、精神専門看護師の山崎さんよりスーパーバイズを受けた。</p>
企画の実施評価
<p>北部地区医師会病院の柴山看護部長にお越しいただき、看護師のメンタルヘルスの困難事例を報告していただき、臨床実践者、大学院生、学部生とディスカッションを行った。また、講師には平安病院・精神専門看護師の山崎千鶴子先生からも、専門看護師の立場から、助言をいただいた。</p> <p>メンタルの問題を抱える職員に対する対応は困難である。今回、どのようにアプローチしたらいいのか、参加者とディスカッションし、今後の対応策など適切にアドバイスを頂き、とても有意義な研究会となった。また、今回の事例はめずらしいケースではなく、具体的な方法などがわかりとても参考になった。</p> <p>自由意見として、事例検討の良い機会となり、内容を生かしていきたいという意見があった。研究会終了後のアンケートでは、今回の内容は、参考になったという意見が多く、満足度についても高い評価であった。</p>
今後の取組み
<p>本年度は年間計画があるので、それに沿って広く広報して多くの方に参加していただけるようにしたい。</p> <p>また次年度に向けて、どのようなテーマで開催するのがいいか、参加者の方のニーズや地域に必要なことは何かを参加者の方のアンケートなどを参考に検討しながら進めていきたい。</p>